檜山教育局による地学協働活動推進のための広報

ひとづくり　や　まちづくり

ひやまをつなごう

第11号　令和5年(2023年)3月

●発　行:北海道教育庁檜山教育局
●担　当:教育支援課社会教育指導班
●電　話:0139-52-6525(直通)
●メール:hiyakyo.seigaku1@pref.hokkaido.lg.jp

1　各町の魅力ある取組の紹介（乙部町）

冬の縁桂散策会～冬の縁桂をみてみよう～

令和５年１月 29 日（日）に、乙部町教育委員会主催の「冬の縁桂散策会」が行われ、親子連れなど町内外から 18 名が参加しました。冬の期間、通常は通行止めになり見ることができない縁桂ですが、このイベントでは規制が解除され縁桂を見ることができます。

参加者はスノーシューを装着し、片道 40 分程度の道のりを景色や会話を楽しみながら散策しました。縁桂に到着した参加者は、教育委員会の職員から説明を受けたり、良縁を願って幹に触れたりするなど、楽しいひと時を過ごしました。

参加者からは、「冬の縁桂を見るのは初めてだったけれど、雪化粧をした縁桂はとても神秘的でした。」「夏の散策会もあるそうなので、ぜひ参加したい。」などと感想を述べていました。

乙部町を代表する「連理の木　縁桂（れんりのき　えんかつら）」
2本の枝が癒着結合し、理（木目）が通じている様子が吉兆とされ、「縁結び」や「夫婦和合」の象徴といわれています。
平成12年に林野庁の「森の巨人百選」に道南で唯一選ばれています。平成22年には日本経済新聞の「訪ねたい神秘的な巨樹」のコーナーで屋久島縄文杉に次いで全国2位となっています。

連理の木で記念撮影

2　各町の魅力あるイベントのご紹介（乙部町）

令和４年度　乙部町ＰＴＡ連合会研究大会

令和５年１月 27 日（金）に、乙部町立乙部中学校体育館にて、乙部町 PTA 連合会主催の研究大会が行われ、保護者や教員、児童生徒約 50 名が参加しました。

KDDI のスマホ・ケータイ安全教室認定講師の村田郁之氏を招き、スマホの適切な利用法について学びを深めました。講演では、実際にあった事例を元にした動画やスライドによる説明が行われ、SNS の投稿による炎上や、なりすましによる犯罪被害など、身近に起こりうるトラブルについて説明が行われました。

また、檜山教育局社会教育指導班が、道内のネットトラブルにおける犯罪被害の実態などについての情報提供を行いました。

講演の様子

参加者からは、「紹介されていたトラブルの例が今の子どもたちの実態に合っていて、身近に起きてもおかしくないということがよく分かりました。子どもにもぜひ見せたいと思う内容でした」「興味のある内容で、あっという間に過ぎました」等の感想があり、とても有意義な研修会となりました。

３　各町の魅力あるイベントのご紹介（厚沢部町）

令和４年度　第３回厚沢部町文化講演会

令和５年２月 21 日（火）に、厚沢部町民交流センターあゆみにて第 57 次南極地域観測隊で調理隊員として活躍された渡貫淳子氏を講師に招いて第３回厚沢部町文化講演会が行われ､約 70 名が参加しました。

渡貫氏は講演で、南極観測隊を目指したきっかけや南極での生活を通して学んだことを話されました。また、南極での厳しい生活の中、日本各地から集まった隊員それぞれの出身地の郷土料理をふるまい、食事はお腹だけではなく心を満たしたこと、食料が年１回しか補給されないため生野菜のありがたさを感じたこと、日本で普通に行う排水やゴミの処理などについても様々な制約があることなど、調理隊員ならではのエピソードに参加者は熱心に耳を傾けていました。また、南極で撮影されたペンギンやアザラシ、オーロラなど貴重な映像もたくさん見ることができました。

講演の様子

参加者からは、「南極での生活や自然を分かりやすく説明して貰えて南極がとても身近に感じられた。」「制限のある南極でも楽しみながら暮らすことは、新型コロナ禍の私たちの生活にも通じるものがあった。」等の感想が寄せられ、とても充実した講演会となりました。

４　小中高が連携した取組（上ノ国町）

令和４年度　上ノ国町学習成果発表会

令和５年２月 21 日（火）に、上ノ国町教育委員会主催のもと、令和４年度上ノ国町学習成果発表会がオンラインにより行われ、上ノ国小学校、河北小学校、上ノ国中学校、上ノ国高校の児童生徒や保護者など 122 名が参加しました。

はじめに、中学生が上ノ国町の魅力発信のため町内の名所である勝山館のパンフレットを作成したふるさと学習の取組について発表しました。次に、高校生が上ノ国町で伝承されている道南では珍しい「庚申待（こうしんまち）」という文化について調べた地域探究学習の取組について発表しました。小学生にとっては中学校や高校でどのような学習をしているのかを知る機会となりました。

その後、上ノ国高校を卒業し、現在道内の大学に在学し教員を目指している２名の先輩から、発表についての感想や、高校までを振り返り、上ノ国町では地域の人とのつながりを感じながら育つことが多かったことや、高校の海外研修がきっかけで英語教師を目指すようになったこと、検定取得に対する補助など上ノ国町の手厚いサポートにより様々なことにチャレンジできたことなど、上ノ国町の良さを伝えるメッセージが数多く送られました。参加者にとって将来の自分の姿を思い浮かべる良い機会となりました。

上ノ国町の小中高生がオンラインで集まる

◇ ◆ ◇ 檜山教育局からのお知らせ ◆ ◇ ◆

○　たくさんの方の御協力により「ひやまをつなごう」を発行することができました。令和５年度も、檜山管内の地学協働の取組をたくさん発信していきたいと考えています。取材依頼や情報提供など、今後も御協力のほどよろしくお願いいたします。

情報提供・アンケート
個人配信登録はこちらから！

※ＱＲコードは（株）デンソーウェーブの登録商標です